

# 奈良県のカキ産地における季節労働者の確保に向けた調査

## 1. 背景と目的

本県はカキの生産量全国第2位で、五條市は県内最大の産地です。しかし、農家数の減少や高齢化が進んでおり、カキ産地を維持するため労働力の確保が重要となっています。

そこで、実態把握と課題解決に向け、雇用労働力に関するアンケート調査および先進的に労働力確保に取り組む他県の事例調査を実施しました。

## 2. 調査結果の概要

### 1) アンケート調査

JAならけん西吉野柿部会員を対象にアンケート調査を行いました。摘蕾および収穫時期に季節労働者が必要とされていること(図1)、労働者の多くは産地近隣に住んでいることなどが明らかになりました。

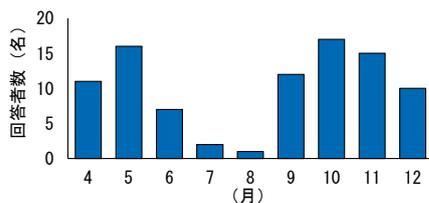


図1 季節労働者を必要とする時期

n=30・複数回答、1～3月の回答は無し

### 2) 事例調査

#### (1) JAにしようわ(愛媛県)

愛媛県および管内の市町と連携し、柑橘の農繁期に全国から労働者を募集しています。地元が宿泊施設を整備し、JAにしようわがそれを管理、農家はホームステイで労働者を受け入れ

るなどの体制が整えられています(図2)。

<b>みかんの里アルバイト事業</b> ・求人サイトを通じて全国から労働者を募集 ・各地区の協議会*が実施主体
<b>みかんの里宿泊・合宿施設「マンダリン」</b> ・市が廃校の小学校を改修 ・JAが施設管理者となり、労働者の宿泊施設として活用
<b>農家ステイ事業</b> ・数日～2週間の体験型短期宿泊事業 ・農作業を通じて地域を知ってもらう

図2 JAにしようわにおける労働力支援の概要

\*農業者、県、市町、JAにしようわ(事務局)で構成

#### (2) JA全農おおいた(大分県)

労働力支援を円滑に推進するため、大分県内のパートナー企業とともに活動しています(図3)。県内で募集した労働者が、パートナー企業に集合し、農園へ送迎される方法がとられています。

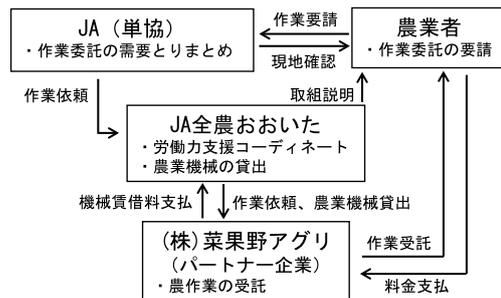


図3 JA全農おおいたにおける労働力支援の概要

## 3. 今後の取り組み

本調査で得られた情報をJAならけん、柿部会員および五條市と共有し、各役割について認識する機会を設け、季節労働者の確保に貢献したいと考えています。

(研究企画推進課 長城利彦)

## お知らせ

◇成果発表会を開催します

【日時】 令和5年3月2日(木) 13:00～16:30

【内容】 研究成果の発表およびポスター展示

【場所】 農業研究開発センター交流・サロン棟  
桜井市池之内130-1

\*WEB会議システムによる同時配信

【申込】 当センターホームページの申込フォームより、2月24日(金)までにお申し込みください。

奈良県農業研究開発センター  
ニュース vol.163

2022年12月28日発行

編集発行 奈良県農業研究開発センター  
TEL 0744-47-4491(代)  
FAX 0744-47-4851  
URL <https://www.pref.nara.jp/1761.htm>  
印刷 株式会社サカタ企画印刷